



### 昨夜から今未明の 四回にわたる地震

#### 共に心配する程のものでない 小名濱測候所が語る

昨夜十時五十分頃石城地方を襲った地震に引続いて同日十一時十五分頃重なる地震更に今十一日午前三時三分頃と其の後間もない三時四十分頃の二度にわたる地震の結果また大地震が来る前震ではないかと一般を驚かせているが小名濱測候所の観測によれば、  
十日夜の第一回は弱震、第二回は微震程度で何れも二回のものは微震程度で何

### 人絹工場の毒瓦斯 例年より軽いらしい

#### 石城郡錦村の人絹工場に於ける

石城郡錦村の人絹工場に於ける有毒瓦斯放散による附近水域被害は毎年收穫期に被害者關係者からの代表と郡農會技術者の調査に基づき損害賠償を同社に求めてゐるが本年も近く同調査の管で被害の状況は従来より軽いと見られて

### 赤井村の村長改選 七對六で再選派有力らしい

#### 政現(現村長)氏が合て票節を

石城郡赤井村では明日十二日午前十時から村長の満期改選村會を招集されるが同改選に先立って村議十三名の意図は現村長赤井三郎氏再選派に對して政友系(田久彌一郎氏等)の同志が元助役であつた芳賀

### 植田青年團で 十三日結團式

石城郡植田町青年團では明後十三日同町小學校に於て結團式を舉行するが團長以下幹部左記の如くである  
▲團長 鈴木佐忠 副團長 藤一夫 植田分團長 谷川龍輔 江畑高木二郎 石塚 友八重松 添野野同大岩雄仁 井田同江尻平喜知 後田同楠田八郎 佐藤同八代繁徳 岸間同水野富男 東田同須田稔 高倉同秋山秋月

### 渡邊村の 興村塾着工

#### 青年の奉仕作業

石城郡渡邊村に於ける興村塾建設の計畫は會報の如く小學校裏手に敷地に選んだ敷地に着手したが青年團員一同が吾れ等の塾は吾れ等の手で二反歩の雑木林の伐り拂ひから開墾等に總動員で奉仕作業中であつて來春までに竣工の管であるが工費は三千六百圓

### 紫雲英品評 縣農會主催

縣農會主催の紫雲英品評法改善水稻増收技術會は縣下各郡から三十餘品種の選出品に對し優劣を決定することになつてゐるが石城郡七點、平市二點を豫選の結果左記五名の出品を決した

日刊 昭和三十五年五月十一日  
発行所 石城郡赤井村 芳賀新報社  
電話 五五五  
代價 一月十四圓 三月三十三圓 半年六十圓 一年一百一十圓  
印刷所 岩手印刷局  
編集人 谷谷政喜  
発行人 谷谷政喜  
社址 石城郡赤井村 芳賀新報社  
新しいわき新報社

### 支那軍語

高級中學校は同一文字でカオチーチンシユニシアオ、初級中學校をチンチーチンシユニシアオ、小學校のことをシヤオニシユニシアオ、學中休暇はウニョニシヤアと呼ぶ

### 山田國婦慰問袋

石城郡山田村の國婦人會では銃後週間の最終の九日小學校に會して慰問袋百餘個をつくりて第一線勇士に送つた

### 四倉商市場 昨日の

平均百十三圓五錢 取引は出廻り六八四圓四百五十圓の總額六百六十三圓四十五錢で相場左記の如くであつたが晩秋期はこれで大體終りと見られ茲二、三日休場の後賑秋期二百貫ぐらゐり出荷の見込みである  
▲最高百十九圓五十錢 最低八十八圓 平均百十三圓五十五錢(八十四掛)

### 戦線と銃後を 圍る美しい情

石城郡泉村の本谷出身石井部隊の鈴木與兵衛氏死亡の通知を受けた當時南昌攻撃の最中で悲みを胸に秘めて奮戦してゐるのに感激した戦友達が手紙に香料を添えて軍曹の留守宅に贈つたところ同家は此の戦友の志に感激、お禮の慰問袋に金十圓を添えて嗜好のもの食べて呉れる様にと厚き辞を

### 泉村の慰問袋

石城郡泉村に於ける國婦人會は銃後週期間中集めてゐた慰問袋百三十餘個を去る九日戦線勇士に發送した

### 今更の様に兵隊が しみじみと有難し

斯うした不便な山で苦樂を共にしながらこの重任に服して居りますと今更の様に兵隊がしみじみと有難く思ふやうなことが多くなつて來て居ります。兵隊が如何なる困難なることでも無理な事でも又生命の安全を保証されぬときで否全く死を覚悟する時であつても、それが命令であつても喜んでこれに服し、このなき意志をもつて黙々とこれを行なつて居るのであります。これにより御褒賞の然らしむるころであります。此の兵隊の偉大さに對し指揮官として衷心感謝の念を禁じ得ないものであります。日本軍の強さ實に茲に在ることとを確信するものであります。 敬具

### 陸奥路の笹龍旗を 迎へて

東北勤皇軍は、右の文字通り、嶺山以來晝夜兼行して途中の接戦中奮勇奮戦し、四月五日の如きは、度々仰せられしんぬ、而るに過奮候の間、兇徒未だ敗れず火急馳せ参るべし云々、

### 建武神社に 悲壯に防ツたり

と事茲に至つては辞句難ならず、只長老將宗廣以下陸奥の兵をしては終ひに其の一兵を惜みず、全族火急晝夜兼行の入援を切要し給うた。五月その甲斐もなきや顯家の石津で討死し、潤七月長途雪路を馳参したのは、恐らく國史あつて未だ見ない所顯家卿と宗廣の奥州軍に限

### 白衣勇士慰問

石城郡泉村の國婦人會本多郁子さん外十三名は今次の銃後週間を機とし仙台、若松の陸軍病院に白衣の勇士を慰問した

### 災害技師調査

縣土木部の伏見新(災害)技師は去る九日石城に來郡、四倉の築港から仁井田川、小名濱港、飯川、蛭田川等の關係現場を調査、湯本泊の翌十日縣道石川、湯本線で歸郷した

### 公園に腐敗死体

平市松ヶ岡第二公園の岩窟に五十五、六才の男の腐敗死体あるを九日午後三時頃通行人が発見し平署の検視あつたが身元不明な食休のもの

### 警防幹部講習

平署警防部の幹部講習會は來る十四、十五日の両日午前八時から第三小學校に於て催されるが縣から久和警防課長佐藤防空主任警部出張、第三次防空訓練に關するもの其他の研究指導をなす

### 平田村農事 實組員の視察

信友平田村の平石農事實行組合員十五名は來る十五日郷里福島驛出發で石城、相馬、宮城縣岩沼町等を左記の豫定で視察する

### 高島藩邸

北畠黨の東北勤皇樹立は、顯家卿に始まつて、僅に多賀嶺山と合せて四年一ヶ月である。けれども同朝の亂に電勅を奉ずる遠江官軍が奥州軍と遠く拜受して行在の危難に長途雪路を馳参したのは、恐らく國史あつて未だ見ない所顯家卿と宗廣の奥州軍に限

### 公園に腐敗死体

平市松ヶ岡第二公園の岩窟に五十五、六才の男の腐敗死体あるを九日午後三時頃通行人が発見し平署の検視あつたが身元不明な食休のもの

### 高島藩邸

電話 三三六六  
岩手印刷局  
石城郡赤井村

# 底業方回

## 陸稻改良作 反當三石收穫

秘訣は深耕と土入  
増収栽培法に成功  
本縣に於ける陸稻栽培反別  
は大作千四百三十町歩で濱通  
りに於ては石城郡の三百十三  
町二反、双葉の六十二町五反  
相馬の六十九町三反計四百四  
十五町歩を算してゐるが水稲  
に比すれば甚だしく收穫が劣  
つてゐるので縣立農事試験場  
が此の増収栽培法を研究中で  
あつたが愈よそれが完成され  
た、増収の新栽培法の要點と  
しては深耕と土入れであつて  
即ち従來早害に悩まされた陸  
稻を深耕でもつて根を深くす  
ることが水分を十分に吸収せ  
しめるとともに倒伏をおそれ  
て十分な施肥が出来なかつた  
點は土入れをなして倒伏を防  
止し、十分に肥料を與へること  
とした。試験場では岩瀬郡  
濱田村の篤農家である渡邊泰  
藏氏の栽培法にヒントを得た  
ものでこれが試験研究の結果  
今年その完成を見たものであ  
つて一反歩當り平均收穫一石  
以下の本縣でこの改良栽培に  
よれば僅に二石五斗乃至三石  
は確實であると云ふ實に三倍  
の收穫に達する驚異的な増収  
に成功したので戦時下に於け  
る主食作の増産計畫上大きな  
發見として山間部の休閑地利  
用、或は不經濟作物の轉換等  
により新栽培による陸稻の大  
増産計畫をたてることになつ  
たが石城の陸稻反當收穫は大  
体一石二斗で三千七百餘石に  
達して居りこれが右の新栽培  
法によつて倍加されるれば七千  
餘石になる譯であるから大し

たものである(完り)

### 肉の御用命は

## 三三三屋

牛も豚も優良品の自慢

一般印刷物も  
御引受致します  
新しいわき新聞社  
印刷部

## お醤油は

ヤマフル

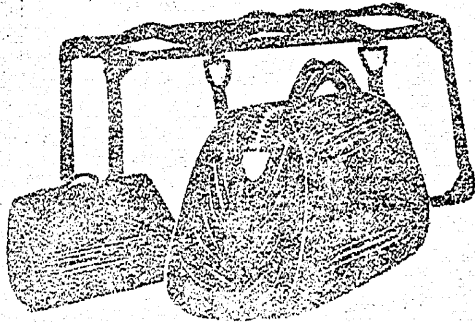
醤油、味噌  
たひら正宗  
鱈節食料品



山崎合名會社

明治生命製城代理店 山崎與三郎

### 類品洋とンバカ



(話電) 屋砂眞 (前驛市平) (り通道新)

産科婦人科 院長 木村寅次郎  
外科 醫學博士 内木宗八  
藥局 藥劑師 大岩俊雄

入院隨意 病室完備  
木村病院  
平市新川町九一 電話一六四番

筋膜、氣管、支氣管、關節、神經痛、肺炎、ロイマス  
...烏桃線、中耳炎、鼻膜炎、腰痛、頭痛、うら疾...  
**新方生公華**  
藥價・九十五錢  
二、四百錢  
黒布で名藥  
山崎邊藥局

治淋新藥 六〇七號

債券、公債、兩替、金融  
多田井質店  
平市大工町 電話五九一番

病室増築、手術室完備  
産科 醫學博士  
婦人科 五十嵐雄二  
平市新川町「電話三六九番」

朝日新聞

朝日新聞社

電話三六九番

朝日新聞社

電話三六九番

根本 婦人科醫院  
根本 莊次郎  
根本 貞雄  
電話三四番  
(入院隨時)

便利で 經濟な 日下家政婦會の  
派出婦を御利用下さい  
身元確かで品行方正ですから  
何をお任せしてもご安心です  
平市白銀町十番地 (電話七二三番)  
日下家政婦會  
會長 日下すい子  
會員同志の御加入(派出なき閑暇に裁縫や)  
を御誘ひ致します(編物をお教授致します)

平病院 (平市元共濟病院跡)  
院長 醫學博士 鈴木定藏  
副院長 鈴木定藏  
內科 長 鈴木定藏  
小兒科 長 鈴木定藏  
皮膚科 長 高橋俊幸  
外科 長 高橋俊幸  
物理療法科 長 鈴木定藏  
藥劑科 長 吉本孝平  
診療時間 毎日午前八時より午後九時まで  
夜間診療に從事す(急患は此の  
時間に限りにあらず)

國民精神總動員  
日本國民必見の...  
西村屋藥局  
1部10セン  
お取次まして居ります

内科、小兒科  
外科、花柳病科  
耳鼻咽喉科  
レントゲン科  
高久病院  
院長 醫學士 高久忠